

公益財団法人 野村財団
第16期事業報告書

2025年4月 1日から

2026年3月31日まで

I. 概況

当財団は、社会科学分野の学術研究・教育活動に対する助成、外国人留学生に対する奨学金の給付、世界経済に関する研究・研究会議の開催・研究成果の刊行、芸術文化の国際交流活動に対する助成及び若手芸術家の育成活動に対する助成を行うことなどにより、我が国の学術研究、世界経済及び芸術文化の発展に寄与し、国際的な人材の育成と国際相互理解の促進に資することを事業目的としています。

当年度は、第16期事業計画に従い、以下のように事業を行いました。

社会科学助成事業については、研究プロジェクト、日本の研究者の海外派遣、奨学研究員、客員研究員及び研究設備に関する助成を実施しました。

外国人留学生奨学事業については、日本の大学の大学院に在学し、社会科学又は人文科学の修学を目的とする外国人留学生に対する奨学金の給付を行いました。

世界経済調査研究事業については、世界経済の動向に関する研究会議及びアジア資本市場研究会議を東京で、世界の資本市場の最新動向に関する研究会議を中国の蘇州で開催し、その研究成果をホームページで公表しました。

芸術文化助成事業については、美術部門および音楽部門の公募助成の他、新人美術家顕彰事業（野村美術賞）に対する助成、敦煌研究院研究者の受入事業に対する助成を行いました。

財務面では、基本財産運用益は3億3,450万円で、基本財産の運用利回りは年率3.18%でした。事業費2億9,920万円、管理費1,806万円を合わせた経常費用は3億1,727万円で、当期経常増減額と当期一般正味財産増減額はともにプラス1,723万円でした。基本財産期末残高は106億187万円、指定正味財産期末残高は102億494万円、一般正味財産期末残高は7億3,194万円でした。

II. 各事業の実施状況

1. 社会科学助成事業

(1) 研究助成：研究プロジェクトに対する助成

助成件数：19件（うち金融・証券のフロンティアを拓く研究助成 1件、金融・資本市場のフロンティアを拓く研究助成 3件、女性が輝く社会の実現をテーマにした研究助成 2件）

助成額：2,361万円（うち金融・証券のフロンティアを拓く研究助成 300万円、金融・資本市場のフロンティアを拓く研究助成 541万円、女性が輝く社会の実現をテーマにした研究助成 500万円）

(2) 国際交流助成：日本の研究者の海外派遣及び海外在住研究者の日本への招聘に対する助成

助成件数：11件（①派遣10件、②招聘1件）

助成額：680万円（①派遣635万円、②招聘45万円）

(3) 講演会等助成：講演会・研究会議等に対する助成

助成件数：5件

助成額：300万円

(4) 奨学研究員助成：東京大学大学院法学政治学研究科及び同経済学研究科附属日本経済国際共同研究センターの奨学研究員制度に対する助成

助成件数：2件

助成額：350万円

- (5) 客員研究員助成：東京大学大学院経済学研究科に対する助成
助成件数：1件
助成額：50万円
 - (6) 研究設備助成：図書、設備備品、特別講義の開設準備等の経費に関する助成
助成件数：2件
助成額：2,600万円
- 社会科学助成総額：6,341万円

2. 外国人留学生奨学事業

日本の大学の大学院に在学し、社会科学または人文科学の修学を目的とする外国人留学生のうち、留学生活上、経済的援助を必要とすると認められ、学業成績が優秀な者に対し2024年度生、2025年度生について一人月額20万円の奨学金の給付を行いました。
対象者：19名（2024年度生 9名、2025年度生10名）
外国人留学生奨学助成総額：4,440万円

3. 世界経済研究事業

- (1) 世界経済の動向に関する研究会議の開催
テーマ「国際経済・貿易秩序における新たな課題」（マクロ経済研究会議、2025年10月16日、東京）
- (2) 世界の資本市場の最新動向に関する研究会議の開催
テーマ：「国際資金フローと開発金融」（CIKD-野村財団共同研究会議、2025年6月7日、中国蘇州）
- (3) アジアの資本市場の最新動向に関する研究会議の開催
テーマ「持続可能かつ強靱な未来に向けたアジア資本市場の可能性の解放」（アジア資本市場ラウンドテーブル、2026年1月29日、東京）
- (4) 出版
Nomura Journal of Asian Capital Markets の刊行（2025年8月29日）
国会図書館、全国の大学図書館などに寄贈。
- (5) ホームページでの調査研究成果等の公表
当財団が主催する研究会議の概要、会議において発表された研究論文、及び刊行物のコンテンツ等（日本語及び英語）

4. 芸術文化助成事業

- (1) 美術公募助成
若手芸術家の育成を目的とする活動及び芸術文化の国際交流を目的とする活動等に対する助成。
助成件数：86件（①団体34件、②個人52件）
助成額：2,457万円
- (2) 音楽公募助成
若手芸術家の育成を目的とする活動及び芸術文化の国際交流を目的とする活動等に対する助成。
助成件数：91件（①団体48件、②個人43件）
助成額：2,462万円
- (3) 新人美術家顕彰事業（野村美術賞）に対する助成
東京藝術大学大学院美術研究科博士課程の大学院生を対象として、特に優秀な作品を選定して買い上げ同大学美術館で保存する顕彰事業「野村美術賞」に対する助成
助成額：300万円

(4) 敦煌研究院研究者受入事業に対する助成

助成額：50万円

芸術文化助成総額：5,269万円

Ⅲ. 評議員会・理事会・選考委員会開催状況

評議員会

開催日	会議名	議案	結果
2025年 5月30日	第46回臨時評議員会	・ 評議員及び理事の選任 ・ 議事録署名人選定	承認可決
2025年 6月16日	第47回定時評議員会 (決議・報告の省略)	・ 2024年度決算書類 ・ 2024年度事業報告 (報告事項)	承認可決
2025年 6月24日	第48回臨時評議員会 (決議の省略)	・ 評議員長の選定	承認可決
2025年10月10日	第49回臨時評議員会 (決議の省略)	・ 評議員の選任	承認可決
2026年 3月10日	第50回臨時評議員会	・ 基本財産の積み増し ・ 金融・資本市場研究助成準備資金の積み増し ・ 役員等の報酬等並びに費用に関する規程の改正 ・ 議事録署名人選定	承認可決

(注) 決議または報告の省略については、評議員全員から書面による同意の意思表示を得たため、評議員会の決議ないしは報告があったものと見なしました。

理事会

開催日	会議名	議案	結果
2025年 5月12日	第77回臨時理事会 (決議の省略)	・ 第46回 (臨時) 評議員会招集	承認可決
2025年 5月30日	第78回定時理事会	・ 2024年度事業報告 ・ 2024年度決算書類 ・ 選考委員の選任 ・ 決議及び報告の省略の方法による評議員会招集 ・ 代表理事の職務執行状況 (報告事項)	承認可決
2025年 6月23日	第79回臨時理事会 (決議の省略)	・ 代表理事兼理事長の選定	承認可決
2025年 9月22日	第80回臨時理事会 (決議の省略)	・ 第49回 (臨時) 評議員会招集	承認可決
2026年 2月17日	第81回臨時理事会 (決議の省略)	・ 第50回 (臨時) 評議員会招集	承認可決
2026年 3月10日	第82回定時理事会	・ 2026年度事業計画 ・ 2026年度収支予算 ・ 2026年度資金調達及び設備投資の見込み ・ 基本財産の積み増し ・ 金融・資本市場研究助成準備資金の積み増し	承認可決

		<ul style="list-style-type: none"> ・金融・資本市場研究助成準備資金取扱規程の改正 ・顧問及び選考委員の報酬等並びに費用に関する規程の改正 ・代表理事の職務執行状況（報告事項） 	
--	--	--	--

（注）決議の省略については、理事全員から書面による同意の意思表示が得られ、監事全員に書面により異議がないことを確認したため、理事会の決議があったものと見なしました。

選考委員会社会科学助成部会

開催日	会議名	議案	結果
2025年 9月18日	2025年度下期選考委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年度下期、国際交流助成、講演会等助成、2025年度「女性が輝く社会の実現」をテーマにした研究助成等の助成の予算配分と助成額の策定 ・2026年度金融・資本市場のフロンティアを拓く研究助成の一次選考通過者の選定 ・議事録署名人の選定 	承認可決
2026年 2月12日	2026年度上期選考委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・2026年度研究助成、2026年度上期国際交流助成、講演会等助成の予算配分と助成額の策定 ・2026年度金融・資本市場のフロンティアを拓く研究助成の助成額の策定 ・2024年度、2025年度採択の金融・資本市場のフロンティアを拓く研究助成の継続 ・2026年度非公募助成の助成額の策定 ・議事録署名人の選定 	承認可決

選考委員会外国人留学生奨学部会

開催日	会議名	議案	結果
2025年 7月 8日	部会長選定 (決議の省略)	・選考委員会外国人留学生奨学部会の部会長選定	承認可決
2025年12月17日	2026年度選考委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・2026年度外国人奨学生の選考 ・議事録署名人の選定 	承認可決

選考委員会芸術文化助成部会

開催日	会議名	議案	結果
2025年 7月30日	2025年度下期選考委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年度下期の芸術文化助成案件の選考 ・議事録署名人の選定 	承認可決
2026年 1月19日	2026年度上期選考委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・2026年度上期の芸術文化助成案件の選考 ・議事録署名人の選定 	承認可決

IV. 法人の運営体制の充実を図るための取組

当財団では、各事業の適正かつ効果的な実施を図るため、運営体制の充実に継続的に取り組んでいます。

法人運営面においては、理事・監事・評議員に外部有識者及び学識経験者を多数選任し、審議機能の強化を図っています。

助成事業においては、分野ごとに外部学識経験者からなる選考委員会を設置し、専門性及び公正性の確保に努めています。また、審査基準及び選考プロセスについては適宜見直しを行い、質の向上並びに透明性の確保を図っています。

事務局においては、業務の標準化・効率化及び情報管理体制の整備を推進するとともに、社内外の研修を通じて内部統制及びコンプライアンスの徹底並びにリスク管理体制の強化を図っています。これにより、公益法人としての信頼性及び透明性の向上に努めています。

以 上